

大山のトイレマナー五ヶ条

1. 登山に備えて前日の体調を整えましょう。
2. 登山前には用便を済ませましょう。
3. 登山時は携帯トイレを持参しましょう。
4. 頂上トイレは大切に使用しましょう。
(トイレの使用は最小限にしましょう)
5. ゴミは持ち帰りましょう。

大山



トイレ

マナーアップキャンペーン

私達がかげがえのない宝

「国立公園大山」の自然環境を守るために

大山には年間に多くの登山者が訪れますが、登山ルートにトイレはなく、頂上に3基のトイレがあるだけです。登山ルート近辺では、登山者の尿による悪臭や汚染、用を足すための踏み跡が裸地を拡大させる等、自然環境にダメージを与えています。頂上避難小屋には、周囲の自然環境を汚染しないよう、自然エネルギーを活用した水洗式のエコトイレが整備されていますが、浄化槽には分解処理された汚泥が時雨とともに蓄積していきます。溜まった汚泥は、ふもとへ下ろし、し尿処理施設で処理する必要があります。「100年後も衰わらぬ大山」を合い言葉に、「大山のトイレマナー五ヶ条」を守ってください。「大山」のすばらしい自然環境を末永く守っていくために、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

※頂上トイレの有料化についても検討をはじめました。

■登山の前にトイレに行きましょう■



■大山頂上避難小屋トイレについて■

頂上避難小屋内にある公衆トイレは、太陽光エネルギーを主な電力源とした浄化循環式のエコトイレとして、平成13年に改修整備されました。

(2基の水洗式と1基の非水洗式、合計3基)

非水洗式については、1年中利用ができますが、水洗式については、洗浄水の凍結やバッテリーの機能低下を抑えるために、10月中旬から4月中旬までの冬期間は使用することができません。(期間はその年の気候条件により前後します)

特殊な山岳環境に設置されたトイレということを十分ご理解の上、大切に使用してください。

～お問い合わせ先～

鳥取県西部総合事務所 生活環境局生活安全課

電話：0859-31-9320